

琴平町地球温暖化対策実行計画 平成 29 年度実施状況報告(概要)

平成 31 年 3 月

「琴平町地球温暖化対策実行計画」は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に準じ、琴平町が平成 23 年度に地球温暖化の主要因である二酸化炭素(CO₂)の発生抑制を目的として策定したものです。本町は、計画を基に率先して環境に配慮した事務・事業を推進すると共に、本報告で計画の取組状況について公表するものです。

第 1 期実行計画期間が平成 28 年度末に終了を迎えることから、平成 29 年度末に、第 2 期実行計画を策定し、平成 30 年度～平成 34 年度までの 5 年間で計画期間として、温室効果ガス削減の取り組みを進めています。

平成 29 年度の温室効果ガス排出状況については、直近である平成 28 年度の実績と比較した結果を報告します。

1. 実行計画の概要

- ✓ 調査対象期間:平成 29 年度(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)
- ✓ 実行計画の対象範囲:本町の管理する事務及び事業
- ✓ 調査対象ガス:二酸化炭素(CO₂)

2. 平成 29 年度 温室効果ガス排出状況等

(1) 温室効果ガス排出量算定の概要

- ✓ 温室効果ガス排出量は、「活動量」(電気、燃料などの使用量)に、「排出係数」(電気や燃料など個別に設けられた係数)をかけて求めます。
- ✓ 「排出係数」は下記に示す排出係数を使用します。

排出源		排出係数
燃料	ガソリン	2.32 kg-CO ₂ /ℓ
	軽油	2.58 kg-CO ₂ /ℓ
	灯油	2.49 kg-CO ₂ /ℓ
	A重油	2.71 kg-CO ₂ /ℓ
	液化石油ガス(LPG)	5.97 kg-CO ₂ /m ³
	都市ガス	2.29 kg-CO ₂ /m ³
電気:四国電力(株)(平成28年度実績算定)		0.651 kg-CO ₂ /kWh
電気:四国電力(株)(平成29年度実績算定)		0.510 kg-CO ₂ /kWh

(2) 活動量推移

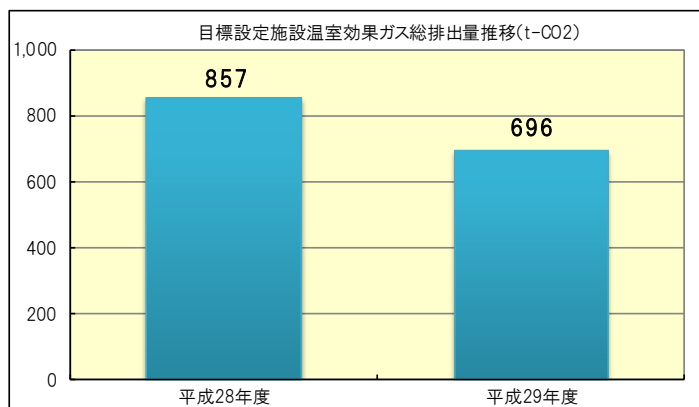
排出源別では、ガソリン、都市ガス及び電気使用に伴う排出量は平成 28 年度比で増加したものの、軽油、灯油、LPG 使用に伴う排出量は減少しています。

項目	平成28年度		平成29年度	
	使用量		使用量	平成28年度比増減率(%)
燃料	ガソリン ℓ	9,255	12,878	39.1%
	軽油 ℓ	9,032	337	-96.3%
	灯油 ℓ	14,334	12,100	-15.6%
	A重油 ℓ	19,000	19,000	0.0%
	LPG m ³	1,231	965	-21.6%
	都市ガス m ³	13	17	30.8%
電気 kWh	1,101,917	1,132,307	2.8%	

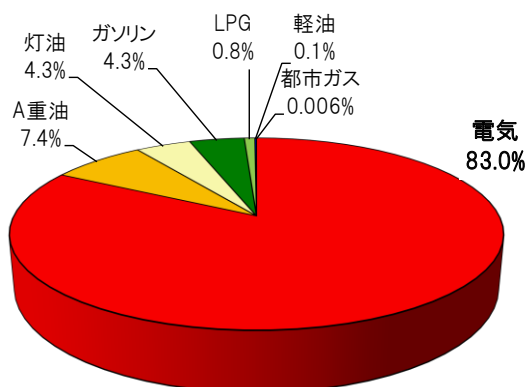
(3) 温室効果ガス排出量推移及び排出源構成

- ✓ 平成 29 年度の温室効果ガス排出量は 696t-CO₂ となり、平成 28 年度(857t-CO₂)に対して、18.8%(161t-CO₂)減少しています。

年度	排出量 (t-CO ₂)	基準年 対比
平成28年度	857	0.0%
平成29年度	696	-18.8%



- ✓ 温室効果ガス排出源構成では、電気使用に伴う排出量が全体の 83.0%を占めています。



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により 100%にならない場合があります。

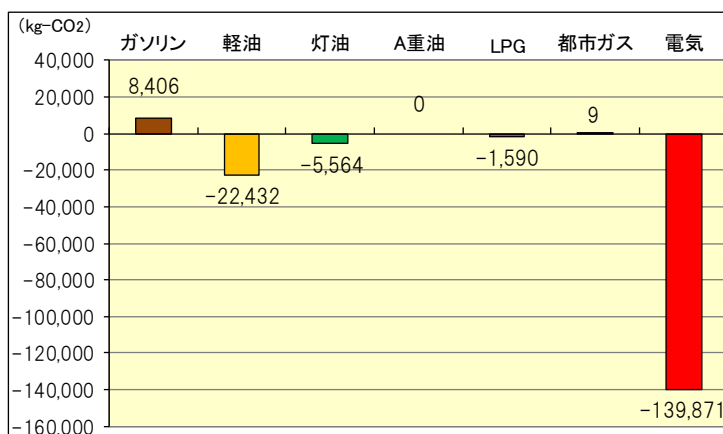
(4) 排出源別温室効果ガス排出量及び増減状況

排出源別では、ガソリン、都市ガス使用に伴う排出量は平成 28 年度比で増加したものの、軽油、灯油、LPG 及び電気使用に伴う排出量は減少しています。

温室効果ガス排出量の減少要因は、排出量全体の 83%を占める電気使用量が平成 28 年度比で 2.8%増加したものの、電気事業者(四国電力株)における排出係数の低減(0.651kg-CO₂/kWh⇒0.510kg-CO₂/kWh)により排出量が減少に転じたことが挙げられます。

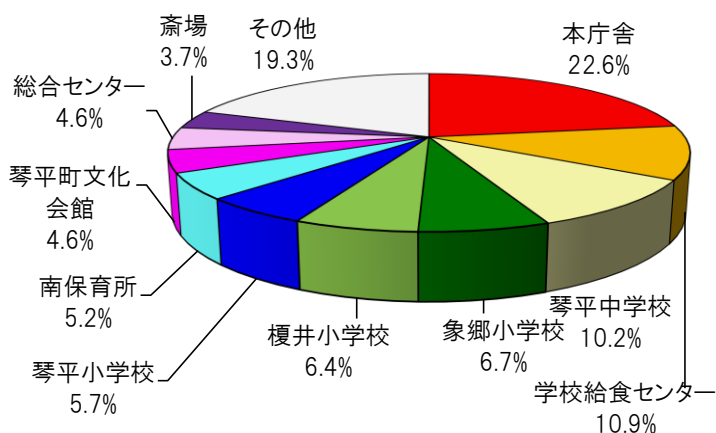
(単位:kg-CO₂)

項目	平成28年度	平成29年度		
	排出量	排出量	平成28年度比 増減率(%)	
燃料	ガソリン	21,471	29,877	39.1%
	軽油	23,302	870	-96.3%
	灯油	35,692	30,128	-15.6%
	A重油	51,490	51,490	0.0%
	LPG	7,349	5,759	-21.6%
	都市ガス	30	39	30.8%
電気	717,348	577,477	-19.5%	
温室効果ガス全体	856,681	695,639	-18.8%	



(5) 施設別温室効果ガス排出構成

平成29年度の施設別の温室効果ガス排出構成では、本庁舎の排出量が全体の22.6%を占めており、以下学校給食センター(10.9%)、琴平中学校(10.2%)等が続いています。



注) 構成比の合計については、端数処理の関係により100%にならない場合があります。

(6) 施設別温室効果ガス増減状況

施設別の温室効果ガス排出量について、平成28年度に対して全施設(25施設)において排出量が減少しており、合計で約161t-CO₂減少しています。

排出量が減少した施設

(単位:kg-CO₂)

課・施設	平成28年度	平成29年度	平成28年度比 増減量	平成28年度比 増減率(%)
1 本庁舎	196,167	157,403	-38,764	-19.8%
2 琴平中学校	89,127	71,158	-17,969	-20.2%
3 象郷小学校	60,551	46,936	-13,615	-22.5%
4 琴平町文化会館	44,448	32,085	-12,363	-27.8%
5 南保育所	45,370	36,275	-9,095	-20.0%
6 学校給食センター	85,166	76,123	-9,043	-10.6%
7 琴平小学校	47,737	39,450	-8,286	-17.4%
8 斎場	33,478	25,863	-7,615	-22.7%
9 榎井小学校	51,209	44,443	-6,766	-13.2%
10 総合センター	37,949	31,686	-6,264	-16.5%
11 象郷農業構造改善センター	11,044	5,257	-5,786	-52.4%
12 ACTことひら	21,888	17,565	-4,323	-19.8%
13 北保育所	28,447	24,815	-3,631	-12.8%
14 生涯教育課(教育委員会)	15,183	12,424	-2,759	-18.2%
15 旧金毘羅大芝居	18,270	15,743	-2,526	-13.8%
16 デイサービスセンター	8,932	6,728	-2,203	-24.7%
17 苗田児童館	4,837	2,711	-2,125	-43.9%
18 北幼稚園	9,627	7,635	-1,992	-20.7%
19 南幼稚園	11,676	9,789	-1,887	-16.2%
20 教育集会所	5,708	4,253	-1,455	-25.5%
21 榎井公民館	7,559	6,123	-1,436	-19.0%
22 琴平児童館	1,603	973	-631	-39.3%
23 ゆうあいの家	1,672	1,286	-386	-23.1%
24 象郷会館	2,021	1,906	-115	-5.7%
25 公会堂	17,014	17,007	-7	0.0%
合計	856,681	695,639	-161,042	-18.8%

3. 総括

(1) 平成 29 年度の温室効果ガス排出状況

- ✓ 平成 29 年度の温室効果ガス排出量は 696t-CO₂ となり、平成 28 年度(857t-CO₂)に対して、18.8%(161t-CO₂)減少しています。

(2) 今後の方針

国は、「地球温暖化対策計画」において「2030 年度に 2013 年度比で 26%削減」を目指しており、このうち地方公共団体を含む「業務その他部門」については約 40%の削減が求められています。

琴平町においても、国の目標達成を含めた地球温暖化対策を行政の責務として実施するため、平成 29 年度に第 2 期実行計画」策定し、2022 年度の温室効果ガス排出量を 2013(平成 25)年度で 20.8%削減するという目標を掲げました。

第 2 期実行計画では、削減目標達成に向け、琴平町の事務・事業の一層の温室効果ガス排出削減及び省エネルギー化を図るとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネ機器への更新など、より実効性の高い施策の実施による温室効果ガス削減を目指すものとします。